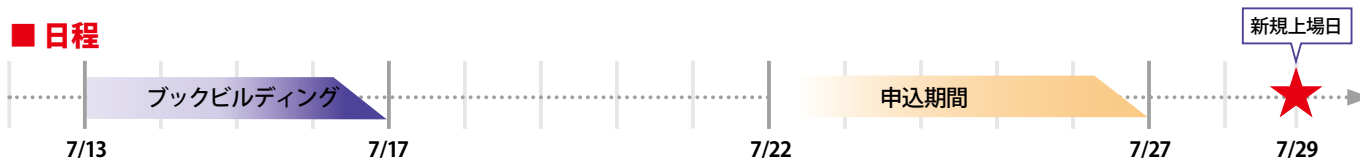


IPO銘柄 デクセリアルズ (4980・東証所属部未定)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
4980	100株	公募: 0.00万株 売出: 4,936.30万株 (OA468.60万株)	1,450円~1,600円 (14.4倍)	大和証券

■ 日程



ソニーケミカルが源流、光学材料部品と電子材料部品が両輪

■ 事業内容

光学材料部品事業と電子材料部品事業が両輪。光学材料部品では光学弾性樹脂などの光学関連部品、材料を手掛ける。光学弾性樹脂はガラスの屈折率に近い光学特性を持つ樹脂で、ディスプレイモジュールとカバーガラスの間に充填することで反射などを最小限に抑えることができる材料。電子材料部品事業では異方性導電膜のほかに、接合関連材料やリチウムイオン電池2次保護素子などを手掛ける。主力の異方性導電膜は熱を加えることで導通、絶縁、接着を一括で行える接合材料であり、テレビなどの大型ディスプレイパネルやノートパソコン、タブレット端末、スマートフォンなどの中小型ディスプレイパネルの回路基板の実装に使用される。

■ 特徴

かつて東証2部に上場していた、トランジスタラジオの回路基板用接着剤付き銅箔や工業用接着剤のソニーケミカルが源流。ソニー<6758>の完全子会社となった後に再編を行い、日本政策投資銀行と投資ファンドのユニゾン・キャピタルに売却。今回の上場で両社が保有株の一部を売却する。

アナリストコメント

■ 定量分析

16年3月期の連結経常利益は前期比16.5%増の115億円を予想する。光学材料部品でタブレット端末向けに光学弾性樹脂の新製品が採用されたほか、電子材料部品でも粘着テープの工業用機能性接合材の新規採用が進んだ。為替市場の円安による恩恵も享受している。

■ 定性分析

ソニーケミカルを源流に持つ企業で、実質的な再上場案件。今回の上場は売出しのみで公募も行わない。東証1部への上場となる見込みだが、TOPIX組み入れなど需給思惑のある上場後は別にしても、初値の上昇に期待するタイプの案件ではなさそうだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約865億円。東証1部市場への上場が確実視される規模であり、仮にそうなれば東証1部としては中型の銘柄となる。初値の上昇率を期待するタイプではないが、機関投資家などの需要が発生するため吸収金額ほどの重さはない。

(小泉健太)

■ 類似企業

デクセリアルズ (4980・東証所属部未定)	予想PER14.4倍 (仮条件上限)
日東電工 (6988・東証1部)	予想PER17.9倍
JSR (4185・東証1部)	予想PER15.4倍

■ 引受証券

大和証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、SMBC日興証券、野村證券、みずほ証券、SMBCフレンド証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
14年3月期(実績)	63,307	—	7,208	—	8,044	—	127.7	—
15年3月期(実績)	65,508	3.5	9,870	36.9	10,721	33.3	170.2	—
16年3月期(会社予想)	75,600	15.4	11,500	16.5	7,000	▲34.7	111.1	55.0

※ 14年3月期より連結決算。15年5月に株式分割(1株→100株)を実施。14年3月期、15年3月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
14年3月期	630,000	90,155	40,620	15,747	644.8	45.1	21.9
15年3月期	630,000	88,979	54,421	15,747	863.8	61.2	22.6

※ 14年3月期および15年3月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	日本政策投資銀行	37,800,000	58.24
2	UC Universe(F),L.P.	10,293,800	15.86
3	UCユニバース投資事業有限責任組合	3,380,800	5.21
4	UC Universe(A),L.P.	3,266,100	5.03
5	UC Universe(B),L.P.	2,653,700	4.09
6	UC Universe Co-Investment(F),L.P.	2,035,600	3.14
7	UC Universe Co-Investment(A),L.P.	1,425,300	2.20
8	UC Universe Co-Investment(B),L.P.	1,204,600	1.86
9	UCユニバース共同投資事業有限責任組合	910,100	1.40
10	一ノ瀬 隆	214,800	0.33

経営陣

役職	氏名
取締役社長(代表取締役)	一ノ瀬 隆
取締役 上席執行役員、コーポレートR&D部門長、資材、新規事業企画推進担当	安藤 尚
取締役 上席執行役員、CFO(最高財務責任者)、財務経理、法務環境コンプライアンス担当	野澤 昭
取締役	平野 正雄
取締役	藤田 浩司
取締役	横倉 隆
取締役	高松 和子
常勤監査役	佐竹 俊哉
監査役	高田 敏文
監査役	佐藤 りか

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。